

3.1.1 新世代モバイルユニット

ユニット長 小川博世

新世代移動通信システムの研究開発

概要

旧CRLの新世代モバイル研究開発プロジェクトと旧TAOの公募研究プロジェクト「第4世代移動体通信システムのための研究開発」を、NICTとして総合的に推進するため、NICTの関係部署間の調整を図るとともに、外部との広範な連携により推進するために必要な業務の検討を行う。

- (1) 無線通信部門横須賀無線通信研究センター、研究開発推進部門委託研究推進室及び企画部の関係者によって構成される「新世代モバイルユニット」を組織化する。
- (2) NICTとして総合的に新世代モバイルに関する研究開発を推進し、研究成果をアピールするために、ユニット内関係部署の調整・協力及び情報の共有を行う。
- (3) 新世代モバイルユニットとして研究発表会などを実施する。

平成17年度の成果

- (1) 無線通信部門研究主管(横須賀無線通信研究センター長)をユニット長とし、無線通信部門横須賀無線通信研究センター、研究開発推進部門委託研究推進室及び総合企画部の関係者から構成する「新世代モバイルユニット」として活動を強化した。
- (2) ユニットの主要メンバー、研究委託先企業、総務省の関係者から構成される「第4世代移動通信システム研究開発連絡会」を4回開催し、研究開発の進捗状況の確認、技術の融合、研究成果のとりまとめに向けた議論を行った。また、ユニットが組織された2年間を含む4年間のプロジェクトの集大成として、平成18年3月28日にYRPにおいて、NICT主催、総務省及びYRP研究開発推進協会の後援により「NICT新世代移動通信シンポジウム」を開催した。参加者は300名(海外から34名)近くに及び、6件の講演及び展示・デモンストレーションにより、ユニットの研究成果を広く内外へアピールした。

